

教団側会合「出席」

鈴木総務相明かす

就任時は説明せず



鈴木淳司総務相

このほか、秘書が別の関連団体の会合にも参加し、会費を支払った。鈴木氏は「会費を持っていて、すぐ帰った」として

る。現在、教団や関連団体との関係は「全く絶っている」と説明した。鈴木氏は、自民党が昨年9月に実施した「点検」でもこうした内容を回答したと説明した。自民党の点検では、旧統一教会主催の会合への出席や、関連団体の会合であいさつや講演をした議員が実名で公表されているが、鈴木氏の名前は記載されていない。

人選の基準は「今の関係」

副大臣・政務官 教団側と接点

鈴木淳司総務相は15日の記者会見で、昨年7月の参院選の前に世界平和統一家庭連合（旧統一教会）の関連団体の会合に1度、出席したと明らかにした。14日の就任会見では「積極的に関係を持ったことはない」「党の調査に詳細に回答している通り」などとするとどめていた。

15日に決まった新たな副大臣と政務官のうち、世界平和統一家庭連合（旧統一教会）や関連団体と接点があった国会議員が半数近くを占めた。▼1面参照

所は、取材に「当該団体との関係を持たないことを引き続き徹底する」と答えた。官邸幹部によると、「閣僚と同じ基準」で、今は教団側との関係を絶ち、今後

鈴木氏は、自民党の候補予定者が参加する教団関連団体の会合に出席したと説明。時期は「参院選の前あたり」とした。教団や関連団体とは「極力関係を持たないよう」にしていたと

昨年の朝日新聞のアンケートや自民党の調査などで接点が確認されたのは26人。教団側のイベントへの出席や会費支出のほか、教団側から献金を受けたりパーティー券を購入してもらったたりしていたケースもあった。

も関係は持たず、仮に新たに過去の接点が見つかった場合には説明を尽くすことを条件に人選が行われたという。

する一方、「支援者から強い要請があり、やむを得ず（参加した）」と理由を説明した。あいさつや講演はしていないという。

そのうち、解散命令請求など教団への対応を所管する文部科学省の副大臣に就く青山周平衆院議員の事務

官邸幹部は「大事なものは今は関係が切れていることだ。今後もしっかり合わせたい。」「教団側と接点があった自民

党中堅は人事直前、首相側近から「接点がある人を外したら人事はできない」と

言われたという。